

『富山県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会』を設置し、 『青少年安心・安全ネットづくりセミナー』を開催



連絡会で挨拶する伊丹局長

北陸総合通信局（局長 伊丹 俊八）は、平成25年10月2日（水）、富山県民会館において、「富山県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会」を開催し、行政、PTA、学校関係者、電気通信事業者など構成員31名が出席しました。

冒頭、伊丹 俊八局長が「スマートフォンの利用が急速に増えている中、青少年が安心して安全にネットを利用できる環境を早急に整備していくことが行政として求められており、このためには、行政だけでなく、PTA、学校関係者、電気通信事業者などと連携していくことが重要。北陸総合通信局としても、本連絡会と連携を密にして、地域レベルのセミナーや講演会、e-ネットキャラバンの出前講座を開催するなど、青少年のリテラシー向上に努めていきたい。」と挨拶しました。

連絡会では、座長に富山大学人間発達科学部の山西潤一教授を選出し、設置要綱の確認、活動計画が承認されたほか、北陸総合通信局からは「スマートフォン安心安全強化戦略」と最近の取組について説明を行いました。また、構成員の取組として、富山県教育委員会、富山県警察本部、日本司法支援センター富山地方事務所から普及啓発活動等に関する説明がありました。

連絡会の終了後、富山県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会、北陸総合通信局及び北陸情報通信協議会（会長 永原 功 北陸経済連合会会長）の主催による「青少年安心・安全ネットづくりセミナー」を開催し、110名の参加がありました。

セミナーでは、明神 浩氏（電気通信サービス向上推進協議会 事務局長、（一社）テレコムサービス協会 企画部長）が、「ネクスト・ソサエティ ネットにのみ込まれる社会 ～青少年を虜にするネットの光と影～」と題して、青少年のスマートフォン利用に関する現状と課題、SNSや無料ゲーム利用を巡るトラブルと対策等について講演しました。

その後、スマートフォンの安心・安全利用に関する意見交換会では、山西座長の司会により、富山県内での高校生のスマートフォン利用の実態等について参加者から報告があり、また、深刻化するインターネット依存の課題等について多くの意見が出され、活発な意見交換が行われました。



連絡会の初会合



セミナーで挨拶する山西座長



講演する講師の明神 浩氏



盛況だったセミナー会場



座長の司会による意見交換会